スポーツ柔整

◆オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ)におけるフィギュアスケート日本代表のトレーナー活動報告

東京柔道整復専門学校　菊地　　正

【key words】オリンピック、フィギュアスケート、スポーツトレーナー、コンディショニング、サポート体制

【Abstract】

【活動内容】オリンピックにおけるトレーナー活動では、選手へのコンディショニングや外傷・障害への対応に加え、選手の状況に応じた環境づくりやサポート体制の構築と運用が重要となる。発表者は柔道整復師、鍼灸師、JSPO-ATとしてスポーツ現場での活動を重ね、2015年より日本スケート連盟フィギュアスケートのナショナルチームに携わってきた。本大会では、ミラノのオリンピック選手村を中心としたサポートに加え、村外拠点としてヴァレーゼにもサポート拠点を設け、複数拠点で選手を支援する体制を構築した。選手のコンディショニング、外傷・障害や体調不良への対応、競技前後のケアなどを実施した。また、選手村、競技会場、村外拠点など、それぞれ異なる環境の中で選手の状況を把握し、医師をはじめとするスタッフと情報を共有しながら、選手の環境づくりに取り組んだ。【成果・課題】オリンピックでは、通常の国際大会とは異なる環境や動線の中で、複数の拠点を活用しながら選手を支援する必要があった。限られた人員や物品を有効に活用し、選手の状態や競技スケジュールに応じて柔軟に対応すること、さらにスタッフ間で連携することの重要性を改めて認識した。本講演では、現地で構築したサポート体制と実際のトレーナー活動を振り返り、オリンピックにおけるトレーナーの役割と今後の課題について報告する。【COI】開示すべき利益相反はない。【倫理的配慮】本発表にあたり、対象者が特定されないよう個人情報の保護に配慮した。発表について対象者または代諾者に説明し、同意を得た。

◆ミラノ・コルティナ2026オリンピック・パラリンピックにおけるハイパフォーマンススポーツセンターの取り組み

ハイパフォーマンススポーツセンター/国立スポーツ科学センター　笹代　純平

【key words】国際総合競技大会、冬季競技、トータルコンディショニング

【Abstract】

【活動内容】日本スポーツ振興センター(Japan Sport Council：以下、JSC)のハイパフォーマンススポーツセンターは、スポーツ庁受託事業であるハイパフォーマンス・サポート事業の一環として、国際総合競技大会の開催地にJSCサポート拠点を設置し、アスリート、コーチ、スタッフが競技に向けた最終調整を行うための医・科学および情報サポートを提供している。ミラノ・コルティナ2026オリンピック・パラリンピック競技大会では、オリンピックではミラノ、パラリンピックではコルティナにそれぞれサポート拠点を設置・運営し、アスリートが普段と同様の環境でコンディショニングを実施できる体制を整備した。本講演では、複数の都市に選手村や競技会場が分散する開催形態となった本大会における、ハイパフォーマンススポーツセンターの取り組みについて紹介する。【COI】開示すべき利益相反はない。【倫理的配慮】本発表にあたり、対象者が特定されないよう個人情報の保護に配慮した。発表について対象者または代諾者に説明し、同意を得た。